

特集

学生でもできる、学生だからできる、天文教育普及 ～関東支部会(2018年11月25日)の開催報告～

飯塚礼子（明星大学／日食情報センター）

1. はじめに

2018年11月25日（日）西荻地域区民センター（東京都杉並区）において2018年度第1回のア文教育普及研究会関東支部会を開催しました。参加者は54名で、そのうち学生（高校生、大学生）は23名でした。

2018年の年会（慶應義塾大学にて、関東支部担当）は、「みんなで楽しむ天文・宇宙」をテーマに行いました。その様々な取組の中で、色々な切り口が考えられます。そこで今回の関東支部会では、学生の立ち位置はどうか、学生でない者も若者から学ぶことが活性化につながると考え、今回のテーマを「学生でもできる、学生だからできる、天文教育普及」としました。テーマの趣旨説明は直井雅文関東支部長が行いました。

プログラムとして、午前・午後とテーマに関する招待発表を全て学生の皆さんにお願いしました。一般発表も今回のテーマに関する発表がありました。

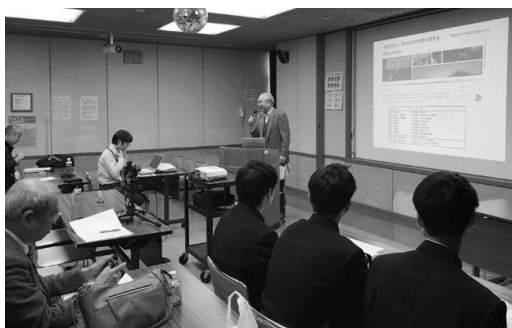


図1 岡村会長のご挨拶

なお、冒頭に岡村定矩会長より、環境省は国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）[1]に係る取組の進展に寄与することなどを目的としている事をご紹介くださ

り、SDGsには17のゴールを設けており、「天文普及活動も貢献できるところがあるのでは。」とご挨拶いただきました。

2. プログラム

発表はテーマに関連する招待講演7件、テーマに関する発表3件、一般講演2件がありました。

さらに、「ランチミーティング」を設け、食事をしながら、テーマ発表に対する質疑やコメントを行いました。プログラムは以下の通りです（敬称略）。

【招待講演】

- ・ 天文×YouTube 新しい世代のメディアで研究現場のリアルを伝えたい！
森 万由子（東京大学）
- ・ 宙のネットワーク～インターネット上の天文同好会の可能性
見里安利紗（神戸大学天文研究会／宙のネットワーク）
- ・ 国立天文台定例観望会における学生スタッフの活動
神原永昌（国立天文台定例観望会スタッフ）
- ・ 学生と研究者でつくる 科学ライブショー「ユニバース」
後藤亮仁・木村将人（ちもんず）
- ・ 宇宙広報団体 TELSTAR
寫村美来（宇宙広報団体 TELSTAR）
- ・ 「星つむぎの村」の活動紹介 ～学生の参画事例
谷口加奈子（星つむぎの村／日本大学文理学部）
- ・ 天文教育普及活動の多様性～学生だからこそ出来た COSMOACT～
三浦飛未来（明星大学）

【テーマ講演】

- ・ 高校生による小学生向け「星空観察会」
林 昂輝（埼玉県立浦和高等学校地学部）
- ・ 明星大学 天文愛好会「すばる」の活動報告
清水結花・遠藤くるみ
（明星大学天文愛好会すばる）
- ・ 学生でないといけない活動
高梨直紘（東京大学/天プラ）

【一般講演】

- ・ ご存知ですか？核融合科学研究所？
矢治健太郎
（自然科学研究機構 核融合科学研究所）
- ・ 天文普及の調査 WG のご案内
飯塚礼子（明星大学/日食情報センター）

【ランチミーティング】

- ・ テーマ発表に対する質疑やコメント
参加者：全員
司会：飯塚礼子

3. 発表内容の概要

今回の関東支部会でのテーマに関する発表は、「天文教育」2019年1月号の特集として各発表者が記載しています。詳細については、そちらをご覧ください。

3.1 招待講演

7組の学生から講演をいただきました。各発表者の時代に沿った情報発信の仕方に、改



図2 招待講演の様子

めて驚いたと共に、その展開力、発想力に学ぶことが多かった講演でした。

さらに、天文は根暗（？）と言うイメージを払拭する、各発表者の取り組みと行動力は、数十年前に既に学生時代を過ごした者にとっても刺激となりました。

3.2 テーマ講演

高校生、大学生、以前学生の3組からテーマに関する発表がありました。自らも学びながら天文普及を積極的に行っているようすが伺えました。

3.3 一般講演

一般講演は2件でした。矢治健太郎氏の講演では、赴任された自然科学研究機構核融合科学研究所についてのご案内と天文普及を絡めた発信を考慮中であることをお話しされました。

飯塚は、天文普及の調査WGを立ち上げた経緯とこれから予定しているアンケートについて皆様にご協力いただきたい旨をお話ししました。

3.4 ランチミーティング

お昼を持ち寄り全員参加で、ミーティングを行いました。司会は飯塚が務めさせていただきました。まずは、若者が考えている天文普及者＝年齢が高い者へのイメージを伺いたいと考えました。ここで高年齢と言う言い方もどうかと考え、あえて「おじさん・おばさん」と言葉を変えることにしました。まずは、参加されている学生さん中心に、自己紹介と天文普及されているおじさん・おばさんへの期待等を各自コメントとして頂きました。その中には、おじさん・おばさんから情報を吸収したいという積極的な考えがあることがわかりました。また、おじさん・おばさん側からは若者とは時代のギャップがあり、若者と

一緒に歩むためにも、最新の技術や情報発信方法など、積極的に学ぶ必要があることに気づかされたと言うコメントがありました。

おじさん・おばさんからは天文普及に携わった経験談や普及の様々なやり方の一例の話から、お互いを知ることが大切であるとコメントをいただきました。天文普及も行う場所や普及相手、さらに学校での展開についてはその場に適した方法が必要であることから、各現場の話や学校教育、社会教育の立場からお互いにどのような協力ができるかについて議論を行いました。



図3 高校生からの発言



図4 ランチミーティングの様子

話は尽きず議論の中から様々な課題が出てきたように感じています。それを各自持ち帰り、今後活かしていただきたいと願っています。終始和やかな雰囲気の中、多くの皆様に語っていただきました。話足りなかった

方々もいらっしゃるかと思いますが、マイクを向けると皆さんが想いを語ってくださりました。この場を借りて、皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

4. おわりに

今回の関東支部会の発表のほとんどが学生であり、参加者も半分弱が学生であったことは嬉しい限りです。ランチミーティングでは、若者、おじさん・おばさんはお互いに歩み寄りたい状況であることが確認でき、今後に繋がることを期待したいです。そのためには何をどうするかが課題になります。

支部会終了後は、西荻窪駅近くに会場を移し懇親会が行なわれました。お店はほぼ貸切り状態となり、参加者の交流と活発な議論、楽しげな笑いが夜遅くまで続きました。

最後に、本支部会に際して、発表者・参加者の皆様にこの場を借りて御礼を申し上げます。

文 献

[1] 環境省「持続可能な開発目標 (SDGs) の推進」

<http://www.env.go.jp/policy/sdgs/index.html>



飯塚 礼子